

月	学 習 活 動 (時数) 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	外部との連携 (人・もの・こと)
<b>「大月町と自分の豊かな未来」(70時間)</b>		
<b>「観光産業」(40時間)</b>		
4	①自分はどんな町に住みたいのか。豊かな町とはどんな町だろうか？15年後の自分たちが生きる未来の町ってどんな風になっているのだろうか？	大月町観光協会
5	②大月町はこれからどうなっていくのだろうか。未来予想や大月町に住む人たちは、どのように考えているのだろうか？	大月町役場
6	③町の人の考えや、未来予想をもとに考察し、何をすれば、この町の豊かな未来を実現していけるのかを考える。	大月町の産業に関わる人たち
7	①観光産業を中心に考えていけば、豊かな未来を実現していけるのではないだろうか？	ふれあいパーク・
9	②観光産業に携わる人々は、どのような未来を描いているのだろうか？	まちおこし協力隊
9	② 観光産業を推進していくために、何をどのように伝えればよいだろうか？	
10	③集めた情報やデータをもとに、2040年の大月町を豊かにしていくために自分たちができることを考える。	
10	④ 自分たちは、大月町の良さをまだ十分理解していない。これから大月町について発信していくために、大月町の財についてもっと深く理解していく必要がある。	
<b>「豊かな未来」を創るためにできること」(30時間)</b>		
11	①観光資源として活用できる大月町の財、または自分が発信していきたい大月町の財は何だろう？その財について深く理解し、「15年後に受け継ぎたい 大月町魅力ガイド」を作成し、多くの人に大月町のことについて知ってもらおう。	グランピング
12	②大月町を広く知ってもらうために、自分たちにしか分からないこと、他地域に住む人たちは何を知っていて何を知らないのか、観光客はどんなことを求めてわざわざ大月町に来ているのか情報を集める。	不動産の滝
1	①集めた情報をもとに、「15年後に受け継ぎたい 大月町魅力ガイド」を作成していくために必要な情報は何か整理し、大月町外に住む人にとって魅力ある内容という視点で情報を分析していく。	備長炭
2	②発信の方法について、専門的な知識を有する人からアドバイスをもらい、自分たちの発信方法について目的と照らし合わせて効果的な方法を選択していく。	柏島
3	④これまで調べてきたことをまとめ、表現する。大月町役場と連携して、大月町の魅力を発信する活動を行う。	大月町役場
3	①これまで学んできたことを振り返り、これからどのように自己実現をしていくかということを考え、理想の進路実現に向けて活動していく。	ふれあいパーク
		COSA